

信念持ち成功目指そう



「本を読み、自分自身で考える習慣を身に付けてほしい」と語る永原氏



「ビジネスを成功させるには、ニーズに対応することが重要」と語る中村氏

平成広徳塾

富山の未来を担う若者が学び合う北日本新聞社の「平成広徳塾」第8期第7回講義は7日、富山市中島本郷の北日本新聞中座で開催された。夢の街創造委員会社長の中村利江氏（高岡市出身）と、北陸経済連合会名誉会長で北陸電力相談役の永原功氏（砺波市出身）が、事業や仕事を成功させるには、信念を持って最後まで諦めないことや自分自身で考える姿勢が大切だと訴えた。

中村氏（夢の街創造）永原氏（北電）講義

中村氏は「ベンチャー経営に見る新規事業の創り方」と題して講義した。宅配・デリバリー専門サイト「出前館」の運営が軌道に乗るまでの苦労を振り返り、「インターネットが普及する中、必ずニーズが高まる」と信じて事業に取り組んだと話した。時代とともに顧客のニーズは変わることに「ビジネスを成功させるには、市場の変化をしっかりと捉えて対応することが重要」と強調した。

永原氏は「電気事業の歴史から見るエネルギー問題」をテーマに話した。豊富な水力を活用した県内電源開発の歩みを振り返るとともに、地域経済に明かりをともした先人として、県内電力事業の先駆者となった初代金岡又左衛門と、北陸電力初代社長を務めた第7回の講義内容は12日の紙面で詳しく紹介します。

県俳句連盟秋季大会



県俳句連盟(中坪達哉会長)の秋季俳句大会が7日、北日本新聞ホールであり、黒部市宇奈月町浦山の

「どの坂も踊りたくなくなる風の盆」

八尾さん(黒部)天位

八尾とあるさん(86)顔写真が詠んだ「どの坂も踊りたくなくなる風の盆」が天位に選ばれた。同連盟、北日本新聞社主催。事前に会員が2句ずつ投句し、658句が寄せられた。連盟の役員が審査し、4人が同点でトップに並んだことから、審査員が個別に特選に推し進めた。中坪会長の呼び掛けで俳句を通じた地方創生の推進を誓った県俳句連盟の秋季俳句大会(北日本新聞ホール)が7日、黒部市宇奈月町浦山の

た数などで決めた。

3回目の天位となった八尾さんは、何度も足を運んでいるというおわら風の盆を題材にした。「町に足を踏み入れたとたん、心にくっついて浮かんた句。集大成ともいえる作品で受賞できたのはうれしい」と喜んだ。地位は富山市の谷雅夫さん、人位は射水市の角田睦子さんが受賞した。

大会には140人が参加。中坪会長が「風土に根差し、富山の魅力を発信できる句を作り、文化で地方創生を進めよう」とあいさつした。連盟役員が入選句を講評し、中坪会長らが入賞者に賞状などを贈った。

富山大名教授の鏡森定信さんが「森林セラピーと自然医学」と題して講演し

総力の22棟 一堂に 高岡で住宅展始まる

高岡市志貴野しらとり台北日本新聞住宅展は7日、同市内で始まった。22社がそれぞれ総力を挙げて建てたモデルハウスを22棟展示。初日は、家づくりを考えている家族連



た。 【入賞者】▽4位 二俣れい子(砺波)▽5位 板谷野々江(富山)▽6位 中陳志美子(黒部) 高橋せつ子(滑川) 石黒順子(酒井) 井純子(富山) 宮西昌子(氷見)▽7位 村山志水(富山) 大久保置酒(魚津) 廣川峯子(入善) 中陳志美子(黒部) 浅野義信、明官

雅子(富山) 吉田泰子(小矢部) 下野マサ子(魚津)▽8位 坂田久子(高岡) 島田おたか、中島黎子、田中律子、大池國介(富山) 浅野喜代美(魚津) 松波絹枝(富山) 丸山与作(黒部) 河内ゆづ子、平澤敏子、室井千鶴子、野村美智子、野中多佳子、中坪達哉(富山)

「家持の時代展」 学芸員が作品解説 高岡市美術館 高岡市美術館が開かれていた企画展「家持の時代展」に合わせて、学芸員が解説するギ

家族連れが訪れた住宅展。高岡市志貴野しらとり台。そして、志貴野土地地区画整理組合が高岡市江尻、荻布、角の3地区で2300区画を開発。国道8号沿いに広がり、近くには路面電車・万葉線も通っており交通の利便性が高い。徒歩圏内には、市役所や市民病院、商業施設もある。

「家持の時代展」 学芸員が解説するギヤラリーツアーで行われ、約魅力に触れた 宝田陽子主 説。文化庁が 化財で家持の 政官符「や」に選ばれてい 像画が見られ 絵」などを紹 政治家として ての面が見て 参加者は熱心 9日は午後 画展示室で、 万葉歴史館学 ヤラリートール

れ約200組700人が訪れてにぎわった。22日までの土日・祝日に計7日間行われる。

住宅展は午前10時午後5時に開かれる。北日本新聞社主催、高岡市志貴野土地地区画整理組合、光興興産、松原建設、江尻工業共催。

この記事は、webunで会員以外の方もご覧いただけます。

た山田昌作氏(故人)を紹介した。情報があふれる現代では「本を読み、自分自身で考える習慣を身に付けてほしい」と呼び掛けた。

高橋剛史さん(北陸電力)が「若い世代の我々にとって貴重な経験となった。志を持って自分が正しいと思つ道を進んでいきたい」と決意を述べた。

高岡市出身の写真家、鳥飼祥恵さんの写真展が7日、ミユゼふくおかカメラ館(同市福岡町福岡新)で開幕した。交通事故や病気で腕や足を失った人たちが競技する「アンパイサッカ」を題材にした意欲作が並んでいる。

「本年度の21日に、立山山麓トレッキング」を 合わせは大山観光 76(482)

平成広徳塾第8期は全7回の講義が終わり、卒業式が7日、北日本新聞中座で行われた。7回の講義を修了した8期生46人が、講義で学んだことを生かし、それぞれの夢や目標に向かって努力することを誓った。

立山山麓トレッキング 立山山麓トレッキングイベントが7日、富山市大山地域の立山山麓スキー場周辺で行われ、約25人が紅葉を楽しみながら立山山麓(2089)の頂上まで歩いた。

高岡市出身の写真家、鳥飼祥恵さんの写真展が7日、ミユゼふくおかカメラ館(同市福岡町福岡新)で開幕した。交通事故や病気で腕や足を失った人たちが競技する「アンパイサッカ」を題材にした意欲作が並んでいる。



「webunに写真3枚」 アンパイサッカに打ち込む1人の少年を捉えた作品59点が展示されている。初日はギャラリートークがあり、鳥飼さんが撮影エピソードを紹介。「少年の成長や周りの人の優しさを感じることができた」などと話した。

会場では、朝日ショットも展示 会期は29日まで



立山山麓トレッキング イベントが7日、富山市大山地域の立山山麓スキー場周辺で行われ、約25人が紅葉を楽しみながら立山山麓(2089)の頂上まで歩いた。

高岡市出身の写真家、鳥飼祥恵さんの写真展が7日、ミユゼふくおかカメラ館(同市福岡町福岡新)で開幕した。交通事故や病気で腕や足を失った人たちが競技する「アンパイサッカ」を題材にした意欲作が並んでいる。

「webunに写真3枚」 アンパイサッカに打ち込む1人の少年を捉えた作品59点が展示されている。初日はギャラリートークがあり、鳥飼さんが撮影エピソードを紹介。「少年の成長や周りの人の優しさを感じることができた」などと話した。

会場では、朝日ショットも展示 会期は29日まで